

平成28年度第1回江別市経済審議会会議録（要旨）

日 時	平成28年7月25日（月） 13:30～15:20
場 所	江別市勤労者研修センター 研修室2
出席者（12）名	会 長/中村 忠之 副会長/平澤 亨輔 委 員/井上 誠司、鴻野 徹、塩越 康晴、和田 美和、駒込 敬子、吉川 邦俊、林 敏昭、石川 生三、北川 雅彦、岡村 恵子
事務局（20）名	経済部長、経済部次長、商工労働課長・参事、農業振興課長、農業振興課係長、企業立地課長、総合特区推進担当参事、企業立地課主幹、総合特区推進担当主査、商工労働課主査ほか1名
欠席者（5）名	委員 /坂上 伸也、金田 敏雄、秋田 耕児、中田 和孝、森田 芳明
議 事	報告事項 （1） 経済部の組織機構及び事務分掌について （2） 平成28年度の経済部各課予算概要及び主要施策概要について

会議録（要旨）

経済部次長	開会のことば
経済部長	挨拶
経済部次長	会議成立報告
経済部長	経済部職員紹介（課長職以上挨拶）
会長	挨拶
会長	それでは、報告事項（1）経済部の組織機構及び事務分掌について報告願います。
商工労働課長	（資料1）平成28年度経済部の機構・配置図、経済部事務分掌説明。
会長	只今の説明について質問・意見はありませんか。
岡村委員	経済部事務分掌の説明にあった商工労働課「知的財産権等に関すること」のうち、実際に取得しているものはあるか。
商工労働課長	現状としてはここ数年で取得しているものはない。
会長	市役所で特許や意匠権などは取得できるか。
商工労働課長	可能とは思いますがそういった事例はまだない。今後案件が出てきた際に商工労働課の方で対応したい。
塩越委員	キャラクターの「えべチュン」の商標登録もこの知的財産に含まれるか。
商工労働課長	えべチュンについては市と直接かかわってはならず、北海道情報大学の先生らが発案して制作されたものである。観光協会では「ゆる認定キャラクター」としており、市内外のイベントへ参加していただいている。

会長	他に質問・意見はありませんか。 次に、報告事項（２）経済部各課の主要施策概要について、事務局から説明願います。
商店街・観光振興 担当参事	（資料２）旧ヒダ工場の保存・活用事業について、（資料３）観光振興計画の策定について説明。
会長	ただ今の説明に対して、質問・意見はありませんか。
石川委員	観光振興計画の策定について今後経済審議会で審議していくとのこと、平成２８年度が始まり４か月ほど経ったが、現在こういった商品や地場産業の掘り起しが進んでいるか。
商店街・観光振興 担当参事	観光振興計画の策定においては、国の地方創生の関係で補助金が約２分の１ついているものであり、事業は補助金の交付決定を受けてから動く予定であり、プロポーサル等をして事業設定に当たるため、具体的な部分については未定である。
林委員	EBRIについてはオープン当初から盛況であると聞いている。現在７店舗とのことだが、それぞれの入替え等はあるのか。また、各店の売り上げ状況について分かる範囲で聞かせてほしい。
商店街・観光振興 担当参事	店舗の入替については、運営会社の方針によって色々と決まっていくものと思われる。各店の売上について具体的な数値はないが、新聞報道では約２００万円とされていた。具体的な数値はいただいていない。
井上委員	EBRIについて、３月に７，０００人、４月がピークで８，０００人の来場者があったとのことだが、リピーターはどれほどいるのか。また、どのようなリピーター対策をしているか。
商店街・観光振興 担当参事	リピーターの比率についての内訳は持っていない。リピーター対策としては新たな商品の拡幅や情報発信を行うことで、なるべく市外の方が来てもらえるようにしていきたい。JAFのドライブコースやリアル謎解きゲームなど、EBRIを拠点に市内を周って新たな発見をしていただくことで、リピーターになっていただければ光栄である。
井上委員	来場者の年齢階層や商品価格設定がやや高めのイメージを現場に行き行って感じた。今後の集客方針としてはターゲットを絞るのか、それとも幅広く呼び掛けるのか。
商店街・観光振興 担当参事	方針は個々のテナントやストアプロジェクトが関わって決まっていくものと思われる。市としては幅広い客層に来てもらえるよう頑張っていきたい。
井上委員	リアル謎解きイベントは、お子さんの参加を促す目的も含まれているのか。
商店街・観光振興 担当参事	含まれている。初級編は小学生を対象としており、市内周遊という目的もあるのだが、お子さまや親子連れでEBRIへ来ていただいて、施設のPRも出来れば。
北川委員	親子で参加できる謎解きゲームの企画は良いと思う。この中で割引を受けられるような周遊パスポートが同封されているが、その経済効果や実施後の評価調査は取り組む予定はあるか。
商店街・観光振興 担当参事	周遊パスポートについては「ランチ５０円引き」などといった内容で経済効果というよりは各店のPRをメインに考えている。実施後の振り返りについては一定程度予定している。
岡村委員	自社加工品をアンテナショップへ卸している。市の中心部に市民に見てもらいやすい場所が出来て効果が高い。現在は観光協会会員の物品が多いが、より多くの地場産品を取扱い出来たら見てもらえる機会が増えて良い。

会長	販売スペースについて、拡充は可能か。
商店街・観光振興 担当参事	現在のスペースの範囲内で対応する予定であり、今年度は拡充の予定はない。
経済部長	補足として、EBRI内にイベントスペースを設けているので、そちらを活用することを予定している。
吉川委員	北海道情報大学の学生が市内PRの目的で15秒CMを制作している。雑誌等で観光資源を発掘、PRしている中ではあるが、各団体とタイアップして観光資源をPRするための映像を作ってはどうか。
商店街・観光振興 担当参事	PR方法についてはSNSなどの媒体をはじめ多岐にわたる。幅広い年齢層に訴えかけるものとして市役所以外の団体との連携も含め検討していきたい。
林委員	今週末と来月中旬、建物の裏側駐車場で行われるEBRI全体のイベント等をはじめ、積極的に動いているようだが、経済部は何らかの協力をするのか。
商店街・観光振興 担当参事	EBRIの運営についてはストアプロジェクトへお願いしており、イベントについても独自に動いていただいているところである。しかし全く関与しないということではなく、何らかの形で協力していきたい。
林委員	何かあったときはぜひ協力して盛り上げていただきたい。
石川委員	観光の方針として、インバウンド（外国人観光客の受入れ）を目指すのか。それとも国内客の獲得を目指すのか。大まかで構わないのでどちらか聞かせてほしい。また、札幌への観光客は1,800万人と聞いているが、それらの受入れを目指すのか、それとも江別を目的地として来ることを目指すのか。
商店街・観光振興 担当参事	基本は国内をメインに考えている。インバウンドについては江別の観光のあり方を考える計画策定の中で要否を検討していきたい。また、札幌への観光客が多い中で、それを江別へ呼び込み周遊してもらいたい。石狩管内の担当者会議においても、「札幌への観光客を石狩管内の市町村へ呼び込みたい」といった話があったので、周遊を目的に広く呼び込みたい。
副会長	観光振興計画における人材育成事業については、誰を対象とし、研修後どのような場所への就職を想定しているのか。
商店街・観光振興 担当参事	広く観光に携わるもの全般を想定している。次年度の審議会において皆様と協議・検討していきたいと思っている。
塩越委員	観光振興計画の中では日帰り観光と宿泊観光、どちらを予定しているか。また、旧江別地区には温泉や宿泊施設があるが、それらを再開発するなどして呼び込む計画はあるのか。
商店街・観光振興 担当参事	計画では再開発等については予定がなく、既存のもので立ち寄り・周遊型の誘客を目指す。
会長	他に質問・意見はありませんか。 次の説明をお願いします。

雇用労働・産業連携参事	(資料4-1) 地域雇用・産業連携所管の各就労支援事業一覧、(資料4-2) 江別市消費者被害防止ネットワークの設立について、説明
会長	只今の説明について質問・意見はありませんか。
井上委員	食の担い手育成支援事業において、対象となる「食関連産業」とは具体的にはどのようなものか。
雇用労働・産業連携参事	主に食品製造業や飲食業の調理部門など。あくまでも食品の製造に関わる業務を想定している。
井上委員	農業関係の支援は含まれていないか。就業サポート等は江別で用意されているのだろうか。別の部署等で。
農業振興課長	農業関係の就労サポートという部分では、繁忙期の人手不足については農協の「アグリサポート事業」を活用する中で補っているという状況である。
井上委員	江別市内で新規参入者や後継者が就農する場合については？
農業振興課長	先に述べたのはパート的な部分について。江別市を含め道央4市と農協で出資している道央農業振興公社において、新規就農や農地集積の部分をスケールメリットを活かし実施している。勿論江別市農業振興課においても相談を受け付けており、国の補助金や支援制度の手続きは実施している。
井上委員	道央管内で行っているとのことだが市独自のサポートがあったら良いと思うので、検討の余地があればお願いしたい。
会長	大学生のインターンシップについては、学生のアンケートからも非常に良い結果がある。実際市内にどれくらいのインターンシップ先があるのだろうか。市側で開拓してもらえると考えて良いか。
雇用労働・産業連携参事	有給インターンシップについては人材派遣会社へ委託しており、事前研修や派遣先との調整、労務管理等も含めて行っている。市内で受け入れ可能との意向があったものは10数社と聞いている。
吉川委員	市内企業の方と話す中で出たものを紹介する。食関連のパートや建設業について人手不足とのことと費用を出して海外から人を呼んでいるが、制度や諸々の事情で2、3年ほどしかいられない。業務指導のほかに、文化や教育水準の違いなどを公的な場所で教えるものがあれば定着率が高くなるので良い、といった話があった。
雇用労働・産業連携参事	提案いただいた内容については、市町村レベルの話ではなく名称はすぐに分からないが、国・道でそういったサポートがあったかと思われる。参考までにお伝えする。
石川委員	有給インターンシップ先についてだが、委託業者が選定した10数社と聞いたが、建設業には声がかかっているだろうか。学生によっては建設業を希望することもありうるし、より多くの業種を視野に入れていただきたい。
雇用労働・産業連携参事	受け入れ先については、大学生であるため幾つかの条件が伴う。学業優先のため、勤務時間は平日の夕方と土日となっている。委託会社と企業間で話をしているので、条件等が適うものであれば市から委託会社を通して問い合わせをすることは出来る。そういった働きかけをしていきたい。
鴻野委員	地域雇用の取り組みについて、有休インターンシップの受け入れ企業が20社を切る等、市内事業者への周知が十分ではないかと思うが、商工会議所では週1回にFAX通信を650企業へ流している。その中でも同事業について案内しているが、回数を増やすなどして協力していきたい。
会長	他に質問・意見はありませんか。 次の説明をお願いします。

農業振興課長	(資料5) 農業振興主要施策概要 (江別市都市と農村の交流拠点施設・地域おこし協力隊・農畜産物加工新商品開発等に対する新たな補助) について説明
会長	只今の説明について質問・意見はありませんか。
井上委員	拠点施設における指定管理の仕組みを再度説明いただきたい。指定管理者制度で決定した事業者のもとで、地域おこし協力隊は就業するという形なのか。その点について公募の条件になっているのか。
農業振興課長	基本的に指定管理者制度と地域おこし協力隊については全く別の物と考えていただいてよい。施設の管理運営については指定管理者をこれから公募し、その中において市が直接雇用している地域おこし協力隊を配置して相乗効果を図る形で業務の推進を目指す。
井上委員	指定管理者については施設の管理であって、事業内容には踏み込まないのか。
農業振興課長	指定管理者はあくまで施設の管理運営をするが、指定管理者の選定にあたり、事業内容の提案をしてもらう。その内容によっては地域おこし協力隊の業務として絡むことはあり得る。
和田委員	屋外に野球場等についてだが、現在ある弓道の遠的場は残るのだろうか。
農業振興課長	スポーツゾーンの活用については、野球場については保育施設の園庭等もある関係で、ネットをつけるほか、園児の活動時間と被らない範囲で最大限活用していただきたい。弓道の遠的場については、来年4月以降は幅広く色々な人が使う場所になるので、現在使用している場所以外で活用できる方策を探っているところである。
駒込委員	拠点施設は川を渡った美原にあるが、自家用車がない人はバスを使うことになる。交通の便についてはどう考えているか。
農業振興課長	活用する上での交通手段としては自家用車での来場を考えている。ご指摘の交通手段については市全体の公共交通の在り方を検討する担当部署と情報共有を行いたい。
鴻野委員	地域おこし協力隊について、2年目に勤務場所を都市と農村の交流拠点へとのことだが、出向という形で指定管理者の会社へ出すという形か。それともあくまでも連携という形での異動で考えているのか。
農業振興課長	他の会社へ出向という形ではなく、市の職員の勤務先が変わるだけとなります。
岡村委員	テストキッチンについては、機械設備を整えてもらったのがとても良い。また、機材の使い方についても、我々がすぐできることではないので、6次産業化支援員が操作指導をするといった、非常に良い作り方をしてもらった。今までは「機械がないから札幌へ行かないと」だったが、江別に機械があれば当別や新篠津など、近隣との交流も生じるかもしれない。今後6次産業化への弾みになるかと思う。
林委員	資料5にある「体育室」の場所は図面で言うとどこか。
農業振興課長	(資料5-2 図面にて説明)

北川委員	テストキッチンについては、営業許可製造が出来るようなつくりの施設か。
農業振興課長	江別保健所の助言を受け、営業許可申請が出来るつくりとしている。
副会長	拠点施設については「都市と農村の交流」がテーマである。それらを踏まえたイベントや企画はあるか。
農業振興課長	今年の2月の指定管理者選定委員会でも、同様の意見があった。基本的に食育の一環として施設をつかってもらうほか、広場等もあるので地場産品を使った婚活パーティー実施や、近隣の直売所のグリーンツーリズムの推進支援などといったものになっている。指定管理者公募においてそういった内容の事業提案を期待している。市としてもそういった観点を大切にしながら連携をとっていきたい。
会長	他に質問・意見はありませんか。 次の説明をお願いします。
企業立地課長	(資料6) 創業支援事業計画について説明
会長	只今の説明について質問・意見はありませんか。
会長	計画の年間目標数134件についてはかなり具体的な数値だが。
企業立地課長	こちらについては今年度の目標数である。数値としては多く見えるが、各種事業の積み上げで積算しているので、ダブルカウントもある。
会長	他に質問・意見はありませんか。 次の説明をお願いします。
総合特区担当参事	(資料7) 北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区について説明。
会長	只今の説明について質問・意見はありませんか。
井上委員	フード特区の指定地域について、江別は農食連携ではないが、商工労働課の6次産業化や農業振興課の地場産品の活用等、他課との農業関係の連携は考えているか。
総合特区担当参事	個別の事業ごとに関係課と相談している。先般、経済産業省北海道経済産業局と北海道農政事務所から認定となった農商工等連携事業計画についても、市内の農業者・中小企業者が連携して進めるという計画が認定されたものである。こちらの推進についても商工労働課・農業振興課と連携して、市としても連携参加者という形で参画し、販路の支援などに取り組んでいく。

副会長	海外現地での「江別フェア」とはどのようなものか。
総合特区担当参事	昨年はシンガポールの明治屋で公募にて募集した市内事業者に出店していただき、現地で直接商品を紹介・販売し、現地の感触や売れ行きを把握していただき、商品開発等へ生かしていただくという取組を行った。今年の実施場所も昨年同様、シンガポール明治屋で進めている。
会長	他に質問・意見はありませんか。 全体を通して意見・希望・補足等はありませんか。
一同	ありません。
会長	以上で本日予定されていた議事は終了します。